

# 平成25年度 附属図書館年度計画（抜粋）

平成25年3月12日  
名古屋大学附属図書館

## 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

### 1 教育に関する目標

#### (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

K1-1. 引き続き、中央図書館、分館、部局図書室の相互の連携を保ちつつ、「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」担当教員、蔵書整備アドバイザー等の協力も仰ぎながら、留学生向けの基本図書のさらなる整備・充実を図る。

K1-2. 留学生向け支援ツールの作成及び講習会を行う。

K1-2, K2-4, K4-5. 教養、学部担当、留学生担当教員と協働してカリキュラムに即したパスファインダーの作成について検討する。

#### (2) 教育の実施体制等に関する目標

K2-2, K3-1. 教員と連携し、ラーニング・コモンズを活用した情報リテラシー教育及びライティングサポートを行い、学生の自主学習を支援する。

K2-3, K4-1. 全学的な情報リテラシー教育のスタンダードを作成し、教員との連携も図り、体系的な講習会を実施

K2-4, K1-2, K4-5. 教養、学部担当、留学生担当教員と協働してカリキュラムに即したパスファインダーの作成を検討する。

#### (3) 学生の支援に関する目標

K3-1, K2-2. 教員と連携し、ラーニング・コモンズを活用した情報リテラシー教育及びライティングサポートを行い、学生の自主学習を支援する。

K3-2. 蔵書整備アドバイザーや関連教員等と連携して、近年設置された創薬科学研究科等や平成25年度に設置される文学部のG30コース等に対応した学習用図書を重点的に整備する。

K4-1, K2-3. 全学的な情報リテラシー教育のスタンダードを作成し、体系的な講習会を実施する。

K4-3. 平成24年度に改正された中央図書館学習用図書整備指針に基づき、部局図書室と調整して学生用図書

K4-4. 学生用図書費の増額要求に向けて、必要な検討を行う。基本図書の利用状況を調査し、蔵書整備アドバイザーへのフィードバックを実施する。

K4-5, K1-2, K2-4. 教養、学部担当、留学生担当教員と協働してカリキュラムに即したパスファインダーの作成について検討する。

### 2 研究に関する目標

#### (1) 研究水準、成果及び実施体制等に関する目標

K5-1. 2014年の購入外国雑誌・電子ジャーナルを決定する。2015年以降の電子ジャーナル及びデータベースの持続的かつ効果的な整備のため、具体的な施策を引き続き検討する。

K5-2. 水田文庫目録刊行に向けて作業を行う。

K5-4. 電子書籍のMARCデータを図書館システムに取り込み、電子書籍の目録の整備を進める。

K5-5. 準貴重書である神宮皇学館文庫を中心にコレクションの目録公開を進める。

K5-6. ウェブスケールディスカバリーサービスの導入を図る。

K7-1. 学位規則の改正に合わせて、学務部や部局図書室と協力して学位論文のインターネット公開を円滑に行うための体制を整える。

K7-2. 引き続きスターターキットの適用を希望する学内刊行物を探す。

### 3 その他の目標

#### (1) 社会との連携や社会貢献に関する目標

K8-1. 東山植物園及び学内関係部局と連携し、展示会、講演会を行う。

K8-2. 「図書館友の会」会員増加のため、新たな企画を実施する。

K8-3. 大学図書館間及び公立図書館との相互協力を推進するため、現物貸借の推進策を検討する。

K9-1.「大学の国際化のためのネットワーク形成推進事業」担当教員や蔵書整備アドバイザー等の協力を得ながら、留学生向けの基本的な図書(学習ツール・ライティング資料などを含む)の整備を継続的に進め、不足分野の充実を進める。

K9-2. 職員のカウンターでの英語対応能力の強化に努める。

K11. 図書館Webサイトの内容を点検するとともに、現在の内容からの充実を図る。

K12 具体の年度計画は、個別の各「中期目標」欄に記載した。

K13 具体の年度計画は、個別の各「中期目標」欄に記載した。

## **業務運営の改善及び効率化に関する目標**

### **1 組織運営の改善に関する目標**

K14. 引き続き委員会の所掌内容の見直しを行う。

K15-1,K15-3. 研究開発室兼任教員との連携により、新たな図書館サービスへの発展を図る。

K15-2. 特任准教授のポストを引き続き確保し、学内類縁機関との連携に基づいた高木家文書等の研究を推進する。

K16-1. 引き続き業務の効率化を進める。

K16-2. 平成24年度・25年度職員育成ポストの運用を継続する。

K16-3. 図書館と関連部局との協力・連携により、図書館が教育施策にさらに関与できる方策を検討する。

### **2 事務等の効率化・合理化に関する目標**

K17-1. 図書系職員の専門的能力開発プログラムに基づき、次世代図書系職員の育成を引き続き推進する。

K17-2. 引き続き地区を中心に人事交流を検討し、推進する。

K17-3. 引き続き図書館職員のための研修プログラムを計画的に実施する。

K18-1. 情報連携統括本部と連携して次期図書館システムの仕様書の原案を作成する。

K18-2. 24年度に実施した外部評価をもとに業務の点検を行い、見直しを図る。

K18-4. 24年度の改善結果を評価し、業務見直しを継続する。

## **財務内容の改善に関する目標**

### **1 外部資金、寄附金その他の自己収入に関する目標**

K19. 引き続き各種の助成金について申請スケジュールに基づき確実に申請を行う。科学研究費補助金の申請を行う。

K20. 引き続き、国内外の事例を調査し、適用可能な方策を検討する。

### **2 経費の抑制に関する目標**

K21-1. 電子ジャーナル等の電子情報資料に関しては、引き続き全国レベルのコンソーシアムに参加し、購入費の抑制を図る。

K21-2,K21-3. 他機関の資料調達の方法の有効性・適用可能性を引き続き調査し、その結果に基づき、値下げに向けて努力する。

### **3 資産の運用管理の改善に関する目標**

K22-1. 未遡及入力の本書の原簿データを部局図書室に提供して不明図書(未遡及入力分)の除却を促進し、図書資料の適正な管理を行う。

K22-1,K22-2. 昨年度に引き続き、不要図書を除却後、ホームカミングデイの「本のリユース市」で販売し、収益金により学生用図書を充実させる。

K22-3. 資料除却の方針を検討し、策定する。

K22-4. 伊藤圭介文庫の翻刻データの電子化を進める。神宮皇学館文庫及び岡谷文庫の「古典籍内容記述的データベース」への登録を進める。

K22-5. 全学の遡及入力実行計画(平成23年～27年度)に基づき、目録公開を行うため、和漢古書、法判例・議会資料、博士論文について総合目録データベースへの遡及入力を進める。

K22-6. 「愛知県図書館定期便実証実験」見直し後の枠組みを検討する。

K22-7. 貴重書庫・準貴重書庫の整備を行う。

K23-1. 平成24年度補正予算による図書館改修に合わせて、アメニティの改善を図る。

K23-2. 平成24年度補正予算による図書館改修に合わせて、図書館事務スペースを見直し、多目的スペースへの転用及び研究用スペースの増設を検討する。

### **自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標**

#### **1 自己点検・評価に関する目標**

K25-1. 学習用図書の整備のため、選書の適切性やサービス拡大を確保するためのデータ収集・分析を行う。

K25-2. 平成24年度に実施した外部評価に基づき、附属図書館のミッション・ビジョンの修正を行うほか、今後の対応を検討する。

#### **2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標**

K26-2. 学内刊行物の再調査を行い、部局図書室と協力してコンテンツを収集しリポジトリ登録数を増やす。

### **その他業務運営に関する重要目標**

#### **1 施設・設備の整備等に関する目標**

K28-1, K28-2. 東海地区大学間学術資源活用事業（仮称）の実現に向けた諸作業を行う。

K28-3. 平成24年度補正予算による改修により快適で高度な滞在型の学修環境の整備を進める。

#### **2 安全管理に関する目標**

K30-1. 入館者チェックの見直しを検討する。

K30-2. 引き続き利用者の安全確保のため、警備員による巡回等防犯対策を強化する。

K31-1. 引き続き、名古屋大学地震防災訓練時に、中央図書館利用者の訓練参加を進める。

K31-2. 法令改正、学内ルールの変更等に基づいた非常時行動マニュアルの見直しを継続する。

#### **3 法令遵守に関する目標**

K32. 引き続き研修等でシステムセキュリティの啓発活動を行う。